

# 横浜ユーフォニアム合奏団 東京公演・第14回演奏会



2022年 11月17日(木)  
開演 18:30 (開場 18:00)  
台東区立旧東京音楽学校奏楽堂

【主催】横浜ユーフォニアム合奏団  
【協賛】セントラル楽器

文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業



## ～ご挨拶～

みなさま、本日はご来場誠に有難うございます。

会場内外におきまして様々なコロナ対策を行なっておりますが、ご来場の皆様のご理解ご協力をいただきました事、重ねて感謝申し上げます。

100年に一度と言われる世界的大流行の影響を受けた私達は、練習場所も無く一緒に音を出す事も出来ないと言う状況下、複数の演奏会を中止するという苦渋の選択をしました。まさに当団の存続の危機をむかえましたが、多くの皆様方、AFF、文化事業など多大なご支援を頂きまして、活動を継続することが出来ました。

今回の演奏会もコロナウイルス第7波の影響を受けましたが、私たちはコロナに打ち勝ち、さらなる飛躍を遂げることが出来るよう準備を進めてまいりました。

本日の演奏会は、伊沢修二以来の日本の西洋音楽の歴史を考える上でも大変貴重なこの奏楽堂におきまして、司会・朗読に吉田孝氏を招え、当団の委嘱作品を中心に様々な作品を披露させて頂きます。私どもにとりまして初めての経験となるユーフォニアムソロ作品と朗読のコラボレーション、「海にうかぶ音」の初演もお楽しみください。

今後ともご支援ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

横浜ユーフォニアム合奏団 一同

## ～プログラム～

1. コンサートファンファーレ (作曲:E.エワイゼン)  
1st. 中本、牛上 2nd. 伊藤 3rd. 山戸 4th. 宇津木 5th. 金山 6th. 深石、Hurtado
2. ノスタルジック・メモリー ～日本民謡によるパラフレーズ～ (編曲:三浦 真理 管楽器編曲:佐川 馨)  
1st. 山戸 2nd. 牛上 3rd. 中本 4th. 伊藤
3. 海にうかぶ音 —ユーフォニアム吹き、奏くんのたからもの— (作曲:織茂 学) 【令和4年度当団委嘱作品初演】  
朗読. 吉田 Eup. 深石 Pf. 岡南
4. 大きな古時計の主題による変奏曲 二重奏版 (小山 和彦) 【令和4年度当団委嘱作品】  
1st. Hurtado 2nd. 伊藤 Pf. 岡南

## ～休憩～

5. ピアノ・ソナタ 第37番 Hob.XVI:37 (F.J.ハイドン 編曲:山口景子) 【令和4年度当団編曲委嘱作品初演】  
1st. Hurtado、金山 2nd. 中本、牛上 3rd. 山戸、伊藤 4th. 宇津木、深石
6. 水上の音楽よりアレグロ (第2組曲)、アンダンテ (第1組曲)、ア・ラ・ホーンパイプ (第2組曲)  
(G.F.ヘンデル 編曲:山口景子) 【令和4年度当団編曲委嘱作品】  
1st. 中本、牛上 2nd. 深石、Hurtado 3rd. 山戸、伊藤 4th. 金山、宇津木
7. 歌劇「カルメン」より アラゴネーズ、インテルメッツォ、闘牛士の歌 (G.ビゼー、編曲:佐々木 亮輔)  
1st. 金山、牛上 2nd. 伊藤、中本 3rd. 深石、Hurtado 4th. 山戸、宇津木

朗読・司会: 吉田 孝





## b 特別ゲスト #

### 朗読・司会：吉田 孝

ワールドカップバレー'95の場内アナウンスでデビューし、ダビスタ実況アナとして東京ゲームショウに出演。その後、代表作であるフジテレビ『スーパーニュース』のナレーターを14年間務める。

近年はテレビCMを中心にKIRIN『本麒麟』、ライオン『NONIO』、創味食品『ハコネーゼ』、Amazonプライム、プリマハム他のナレーションを担当。

声優としても『タイタニック』を始めとする多くの吹替作品に参加し、『ダイヤのA』、『おそ松さん』、『ブラッククローバー』など話題のアニメにも出演。

一方、コンサートでの司会・朗読を自らのライフワークとする他、フジテレビ『アナトレ』、芸劇オーケストラアカデミーの講師も務める。今夏、NHK連続テレビ小説『ちむどんどん』に声の出演、活躍の場を広げている。





# ♪ 委嘱作品作曲家プロフィール #

## 三浦 真理

国立音楽大学作曲科首席卒業。同大学院修了。  
第1回サクソフオン協会主催作曲コンクール入選。  
ピアノデュオ国際作曲コンクール第1回・第2回入選。器楽・ピアノ・合唱、  
作品多数。音楽教科書掲載作品では、作詞も手がける。  
ユーフォニアム作品は、「パガニーニへのオマージュ」、「地球の詩」が  
ロケットミュージックより出版されている。  
同じ作品で、吹奏楽版がフォスターミュージックより発売中。  
現在、研修会の講師、吹奏楽コンクールの審査員としても活動している。

## 佐川 馨

山形大学特設音楽科を卒業後、秋田県で高校教諭として吹奏楽部を指導し、  
吹奏楽コンクール東北大会、全国大会に出場。その後、秋田県教育委員会指導主事、秋田大  
学准教授を経て2012年に山形大学に着任。専門は音楽教育学。  
音楽教育関連の著書・論文のほか、高校の音楽教科書や教師用指導書を執筆。  
現在は山形大学学術研究院教授。

## 織茂 学

武蔵野音楽大学卒業。大学卒業時にカーネギーホールにて初の海外演奏。吹奏楽界のピアノ  
の第一人者として多くの演奏会に招かれる。近年、ピアノを使った吹奏楽コンクール課題曲  
講習会や、武蔵野音楽大学音楽教育研究会にて特別講座の講師も務める。また作曲家として、  
「したまちコメディ映画祭 in 台東」では、声優の羽佐間道夫氏に才能を認められ、3年連  
続の楽曲提供と演奏を担当するほか、NHK放送記念日記念式典の楽曲アレンジを担当。全国  
各地の各種コンクール審査員や、指揮者岩村力氏のアシスタントの務めながら指揮活動も展  
開するなど活動は多岐にわたる。

## 小山 和彦

国立音楽大学作曲学科卒業時に有馬賞受賞。東京藝術大学大学院修士課程修了。  
第56、57回日本音楽コンクール作曲部門にて、それぞれ入選(室内楽作品)と第2位入賞(管弦  
楽作品)。1996年独奏・独唱曲による個展を開催。  
1997年第4回ピアノデュオ作品による国際作曲コンクール連弾部門第1位入賞。  
1998年第9回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門入選。  
PTNAピアノコンペティション2000年度(特級)、2003年度(A1級)で課題曲に採用。  
2013年～2015年登米市市民歌制定委員会委員長。  
現在、宮城学院女子大学教授。国立音楽大学非常勤講師。

## 山口 景子

富山県生まれ。4歳よりピアノ、13歳より和声学を学ぶ。東京音楽大学卒業。  
在学中は、主科ユーフォニアムの他、副科でピアノと作曲を専攻。2003年に自身初の著書  
「結婚式・パーティーで使えるフルートとヴァイオリンのためのデュエット曲集(ドレミ楽  
譜出版社)」が出版されて以来、楽しく演奏してもらえて、コンサートやブライダル現場な  
ど、演奏者のニーズに応えられる楽譜を！という想いで書き続けている。  
近年は、より多くの方に生の音を届け、音楽を身近に感じ楽しんでいただきたいという想い  
から立ち上げた、フルートとピアノの小さな合奏ユニット「音奏～オトカナ」  
<https://otokana.jimdo.com/>での演奏活動にも力を入れている。



# 日本のユーフォニアム発祥の地、横浜

みなさん、日本のユーフォニアム発祥の地は横浜です。ご存知でしたか？

明治2年に、日本で初めての吹奏楽団となる薩摩藩軍楽隊が結成され、横浜、本牧の妙香寺において、英国の軍楽隊長フェントンの指導を受けることになりました。

フェントンは初代君が代を作曲したことで知られていますが、彼は32名のバンドを編成し、英国のディスティンを仲介としてロンドンの楽器店に楽器一式を発注しました。

この楽器が到着するまで、洋式に作った日本製の横笛、ラッパ、太鼓等の教育が妙香寺にて行なわれています。

翌年7月に待望の楽器を積んだ船が横浜港に到着しましたが、さらにフェントンはロンドンのベッソン社に楽器購入を依頼し、同年12月に横浜港を出港する船に、吹奏楽器2組、64点の楽器購入の代金を託しました。これが英国への2度目の注文で、この楽器は翌明治4年に横浜港に到着しました。

さて、薩摩藩軍楽隊の最初の伝習生達が担当した楽器についてですが、後年研究が行われ、隊員名簿が作成されました。この名簿によりますと「中位大ナル楽器ニシテ(ユーホネン)」「伝習生人名 ユーホーニオン」などの楽器名を認めることができます。

この「ユーホネン」「ユーホーニオン」などと呼ばれた我が国が最初に輸入した楽器についてですが、この取引を仲介したとされる英国のディスティン社は、1845年にロンドンで店を構え、翌年より英国内におけるサクソルン(ベルギーのアドルフ・サクスが考案した一連の金管楽器)の代理店になっています。

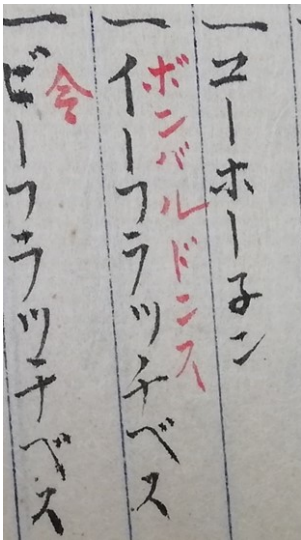
ディスティンは1857年頃にこの契約を解消し、以来ディスティン社のカタログからサクソルンの名前が消えて、「Euphonion」というドイツの金管楽器の名称を対応させています。これに対抗するために、アドルフ・サクスは自身が制作したサクソルンを英国に持ち込み、サクソルンで統一された金管の楽団を結成、これが今日の英国の金管バンド(英国式ブラスバンド)として発展しました。

1868年にディスティン社は英国のブージーに買収されて、ブージー社(boosey & co.)が金管楽器の生産を引き継ぐ事になりました。薩摩藩軍楽隊の使用する楽器の注文をディスティンに出したのがこの翌年の1869年ですから、楽器の生産はブージー社に引き継がれています。

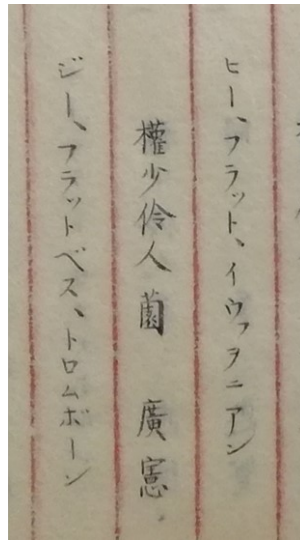
その後、1874年にブージー社の楽器開発者によって、現在の私達の使用するユーフォニアムに装備されているコンペンセイティングバルブシステム(セミダブル方式)が発明されました。1940年にブージー社はベッソン社と合併し、現在はベッソンブランドとして足跡を残しています。

話が進みすぎました。フェントんに話を戻しますと、この後フェントンは明治5年に海軍軍楽隊、明治7年に宮内庁楽部のお雇い外国人となり、軍楽隊の隊員、雅楽を演奏する伶人に欧州楽(吹奏楽編成)を伝えています。当時の宮中の記録から、「ユーホー子ン(子は子年、ねずみ年の子です。ユーホーネン)」「ヒー、フラット、イウフヲニアン(フは小文字の表記)」などの楽器名の記載を読み取ることができます。

横浜は我が国のユーフォニアム発祥の地です。



左図「欧州楽録」 欧州楽器名称



右図「明治九年天長節書類」 欧州楽役割

#### 参考文献

- 「海軍軍楽隊」楽水会編 国書刊行会 1984年
- 「洋楽導入者の軌跡」中村理平 刀水書房 1993年
- 「欧州楽録」式部職 宮内公文書館蔵 自明治7年 至明治8年
- 「天長節書類」式部職 宮内公文書館蔵 明治9年
- 「西郷隆盛惜別譜」横田庄一郎 朔北社 2004年
- 「概説・日本の近現代史に息づく吹奏楽」戸ノ下達也 横浜ユーフォニウム合奏団蔵 2021年
- 「日本におけるユーフォニアムの歴史」深石宗太郎 洗足論叢 2007年
- 「明治～昭和初期における国産金管楽器についての考察」深石宗太郎 洗足論叢 2008年
- 「ニューグローブ音楽辞典」(英語)

## 横浜ユーフォニウム合奏団

1993年2月に結成。同年11月に第1回演奏会を開催。

以降定期的に演奏会を開催し、1996年9月には特別演奏会と題しユーフォニウム奏者のブライアン・ボーマンを、1997年の第5回演奏会ではコルネット奏者のロジャー・ウェブスターをゲストとして迎えている。

団員の移動などにより一時活動を見合わせる事となるが、深石宗太郎が代表として2017年にメンバーを再結集し演奏活動を再開。

2021年には文化庁「ARTS for the future!」補助事業の交付、旭区（神奈川県横浜市）との共催事業、地方公演の開催、依頼演奏、委嘱作品の販売、アンサンブルコンテストの主催など、活動の幅を広げている。

これまでに、福田洋介、八木澤教司、三澤慶、小山和彦、三浦真理、福嶋頼秀、山口景子、伊東明彦など、著名な作曲家に作品の制作を依頼、安藤なおこ(歌・朗読)、吉田孝(司会・朗読)、沼山紘史(ユーフォニウム)(以上敬称略)をゲストに迎え、数多くの作品の初演を成功させている。

# 出演者プロフィール

## 伊藤 優晶 (いとう まさあき)

洗足学園音楽大学卒業。尚美ミュージックカレッジ専門学校ディプロマ科修了。  
ユーフォニアムをこれまでに円能寺博行、深石宗太郎、露木薫の各氏に師事。  
ユッカ・ミュリユス、外園祥一郎、鈴木浩二各氏の公開レッスン、マスタークラスを受講。  
第12回大阪国際音楽コンクール金管楽器の部入選。横浜市民広間演奏会会員。



## 宇津木 宏光 (うつき ひろみつ)

洗足学園音楽大学及び同大学大学院音楽研究科修了。大学卒業時優秀賞を受賞し卒業演奏会に出演。  
第13回日本クラシック音楽コンクール4位入賞し、前田音楽奨励賞受賞。第76回横浜市新人演奏会出演。  
ユーフォニアムを深石宗太郎に師事。  
演奏活動の他、吹奏楽・マーチングバンド等の指導、吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストの審査員を務める。

## 中本 利輝 (なかもと としき)

洗足学園音楽大学卒業。在学中、平成26年度特別選抜演奏者に選ばれる。  
第15回Brian L.Bowman記念コンクール、19歳以上一般の部にて第2位(1位なし)。  
Asia Tuba&Euphonium Festival 2017内のコンペティションにて第2位。ユーフォニアムを露木薫氏に師事。  
Dr.Demondrae Thurman, Dr.Brian Bowman, Thomas Ruedi, Mark Jenkins, Matt Tropman, Benjamin Pierce,  
牛渡克之、鈴木浩二、新井秀昇、伊東明彦の各氏のレッスンを受講。



## 深石 宗太郎 (ふかいし そうたろう)

国立音楽大学を首席卒業、矢田部賞を受賞。  
1986年、米国テキサス大学にて開催されたITECコンクールにおいて、日本人金管楽器奏者として  
国際コンクール初入賞となるユーフォニアム部門第2位。  
87年、レナード・ファルコーニ国際コンクール第3位。89年、第6回日本管打楽器コンクール第2位を受賞。  
シンフォニックファンファーレ東京ソロ首席ユーフォニアム奏者。シンフォニックプラス東京ユーフォニアム奏者。  
海上保安庁音楽隊技術研修講師。慶應義塾大学ウインドアンサンブルOBバンド吹奏楽団指揮者。  
洗足学園音楽大学客員教授。三浦徹氏に師事。

## 山戸 宏之 (やまと ひろゆき)

昭和音楽大学卒業。イギリス・バーミンガム音楽院に1年間留学。  
2007年度に1年間バンドジャーナル誌にワンポイントレッスンを執筆。  
現在、ヴィヴィッド・プラス・トーキョウ、トレイルブレイザーズ・テンピース・プラスのバトン奏者。  
その他、吹奏楽、アンサンブル、ソロ等でユーフォニアム、バトン奏者として活動している。  
また、演奏活動だけではなく、吹奏楽部での指揮、指導や個人レッスンにも力をそそいでいる。  
ユーフォニアムを三浦徹、大房美穂、深石宗太郎、スティーブン・ミードの各氏に師事。  
昭和音楽大学非常勤講師(合奏)。東京音楽学院講師。



## Matthew Hurtado (マシュー ヒュタード)

テキサス州(アメリカ合衆国)出身。2015年にはテキサス州立大学(テキサス州)で音楽教育を学び、  
2017年にはルイジアナ州立大学(ルイジアナ州)でユーフォニアム演奏の修士号を取得。  
ユーフォニアムを演奏するほか、2018年にはプロのトロンボーン奏者として初めて日本に来て、  
FNS歌謡祭に出演したり、マーチングバンド(DCI)を指導したり、多岐な活動をしている。現在、USJプレイヤー。

## 金山 美月 (かなやま みづき)※研修生

東海大学付属高輪台高等学校卒業。  
ユーフォニアムをこれまでに深石宗太郎、宇津木宏光、庄司恵子の各氏に師事。  
洗足学園音楽大学管楽器コース1年生在学中。



## 牛上 隆司 (うしがみ りゅうじ)【ユーフォニアム・賛助出演】

日本大学芸術学部及び東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース卒業。  
日本大学卒業時に芸術学部賞受賞。読売、練馬、ヤマハの各新人演奏会に出演。  
コンクール入賞歴、リサイタルの開催やゲスト出演多数。  
現在、「オーガナイザー」など5枚のCDをリリースしている。  
日本大学芸術学部講師、ヴィヴィッド・プラス・トーキョウ・プリンシパル・ユーフォニアム奏者。

## 岡南 健 (おかなん たけし)【ピアノ・賛助出演】

洗足学園音楽大学を経て同大学院修了。大学卒業時に優秀賞を受賞し卒業演奏会に出演。  
同大学アンサンブルニューボートと眞鍋昭大のOcean's Voice、  
徳島県立城東高等学校オーケストラ部とラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を協演。  
第22回「長江杯」国際音楽コンクールにて優秀伴奏者賞を受賞。  
これまでに室内楽を清水将仁、西脇千花の両氏に、ピアノを英美生、吉武雅子の両氏に師事。





## 今後のスケジュール

「横浜ユーフォニアム合奏団 新春試奏会」  
2023年1月8日夕刻より ワークピア横浜 Euphony

横浜ユーフォニアム合奏団主催  
「第2回 横浜ユーフォニアムアンサンブルコンクール」  
2023年2月開催



横浜ユーフォニアム合奏団のあれこれ(ぜひ遊びに来てください!)

ホームページ



Webショップ



YOUTUBE



Facebook

